

ふだんからの顔の見える関係づくり II 災害にも強い地域づくり

一多発する自然災害一

地震、津波、台風、豪雨、さまざまな災害が年々多発傾向であり、大きな被害をもたらしています。災害が起きることをなくすことは難しいですが、災害による被害を減らしていくこと(減災)は、私たちの意識次第で大きな効果をもたらします。地域の防災力=地域のつながり力です。

ふだんの暮らしのつながりが、“いざ”という時の行動にも生きてきます。

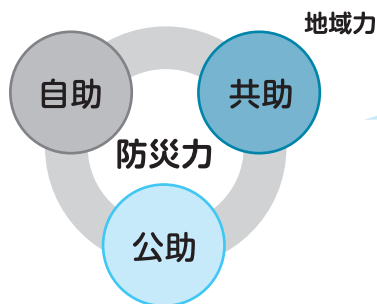
東日本大震災(2011)



西日本豪雨(2018)



熊本地震(2016)



【ふだんの暮らしのつながり】

サロン



見守り訪問



見守り会議



“災害にも強い地域づくり” 学び合い講座

3月に開催!

市内の自治会・自主防災会・民生委員の方々に参加していただき、住民による防災・減災の活動を学び合う講座を開催しました。

実施報告【大藪町自主防災会】

お年寄りや子ども、障がいのある人も含め実現する「みんなの防災」。日常での備えやご近所とのつながりを災害時の力とする「毎日の防災」。これらの防災文化を育てていく町づくりをめざして活動していることをお話しいただきました。

これから取り組まれる自治会向けには、「防災診断」(防災意識のアンケート)や「緊急助け合い連絡網」(助け合い担当を示した連絡網)を資料提供いただきました。

「みんなの防災」・「毎日の防災」



誰一人取り残さない防災の実現

情報提供【彦根市危機管理課】

「自助」「公助」とともに「共助」(地域や近所での助け合い)を大切にするのが防災力につながることを助言いただきました。